## 2022年度人権メッセージ

# あなたらしく、私らしく生きること

~伝えたい。思いあい・認めあいの心~



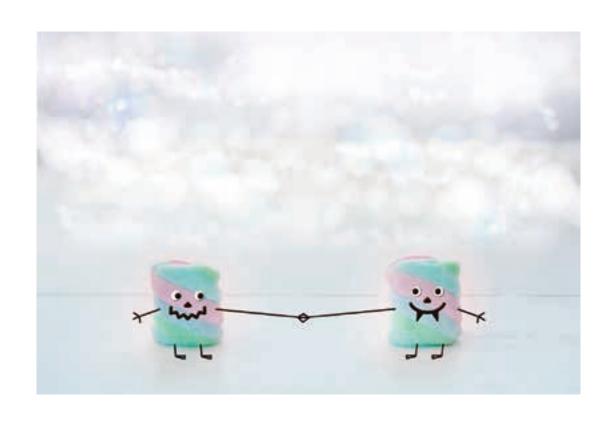






こえかけるとたのしくなる
こえかけるとうれしくなる
おもしろいこといったり
たのしいことしたら
こころがあたたかくなる
おともだちになりたいっていうきもちになる

「ねえねえ。おともだちになろう。」





字がかけなくても、よめなくても

はしがもてなくても、だいじょうぶだよ。

みんなとおなじでなくていいからね。

ゆっくりじぶんのペースでだいじょうぶだよ。

ゆっくりペースの、いもうとに、つたえたい。









友だちとわたしは、とく意なことがぜんぜんちがいます。

だけど、助け合っています。

とく意なことやにがてなことはちがうけど、おたがいに教えあっています。

これからも助け合っていきたいです。

みんなが一人一人のことをみとめあっていきましょう。













自分はしょうがいしゃだから、しょうらいゆうめいになって、

はったつしょうがいがにんしきされるような世界を作って、

いつか、ほかのしょうがいもにんしきされて、生きることが楽しい世界にして、みんながえがおな世界にする。



わが家には、毎年夏に、ユニセフを通して、アフリカの人がホームステイにやって来る。 一緒にご飯を食べたり、大笑いして楽しい。

肌の色、言葉、表情等で、判断するのは、間ちがっている。私はそう思う。



ぼくには、いつもお母さんから言われる言葉がある。

それは、「誰にでも優しくいなさい。」という言葉だ。

優しくいられるということは、強いことだと教わった。優しくいられるほど強い強い証だと。 お母さんみたいな優しく強い人にこれからもなろうと思った。







インターネットの中は、しらない人ばかり。

A STATE OF THE PARTY OF THE PAR

みんなとおしゃべりするときは、やさしい言ばで話そう。

いろいろな考えがあってもいいんだよ。





人はみんな同じ人間。はだの色、言葉、生まれた国がちがってもみんな命の重さは同じ。

たとえ自分と何かがちがっても

その人は、この世界に1人しかいない存在だと思ってもらいたい。







SNSは楽しい。

しかし、その楽しさの裏側では、

人を傷つけているかもしれない。

そして、命を落としてしまう人がいる。

自分が人を傷つける人にならないように

使い方を見直したい。

そして、あたり前になっているSNSを通して、 涙を減らし、笑顔を届けたい。 元気がない時、友達や家族の一言で前を向くことができる。勇気をもらえる。 優しい声が心に残る。重かった気持ちも軽くなる。

一言で傷つく言葉もあるけど、助けになる言葉もある。

相手の気持ちを考え言葉を発していきたい。



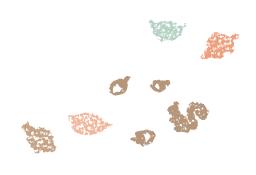






〈中学生〉





私は、視覚障害をもっていて、そのせいで差別のようなことをされたことがあります。

差別される度に自分の事が嫌いになっています。

誰にでも心はあります。

私のような人が一人でも増えないように、相手の個性を認め、

差別などをしないようにしましょう。

あなたがなやんでいるなら教えてほしい。

あなたの心の中は見えないけど、

あなたの「支える力」になれるかもしれないから。

あなたにはずっと笑っていてほしいから。

だから私を頼ってほしい。







〈中学生〉





〈中学生〉



同じくらい 大事にしたい 君と僕





### くらべない 一人一人が 主役だよ



〈中学生〉

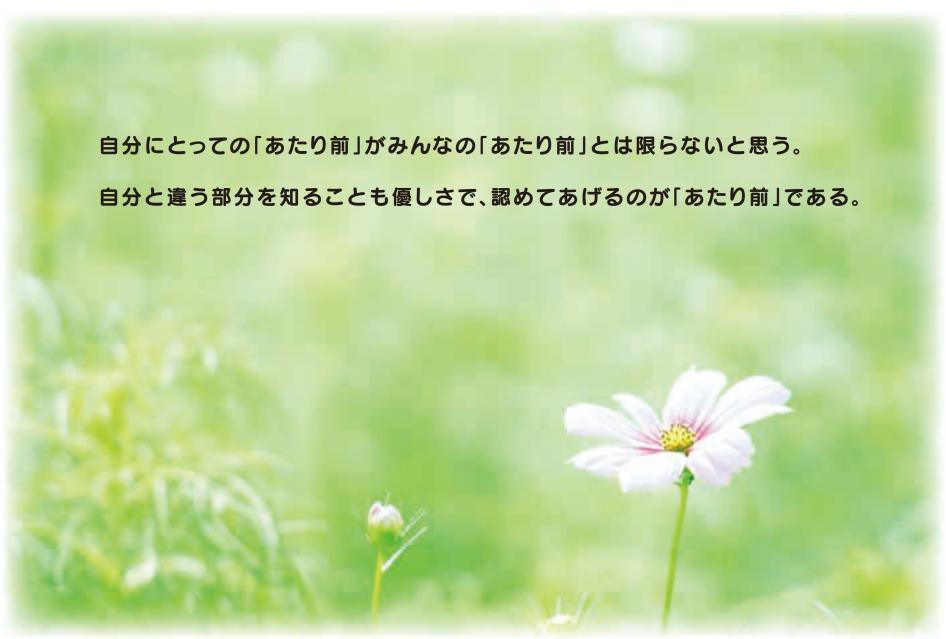






差別や偏見。この世界からなくなる気配はまだない。

どうして差別をするのか。性別、性格、肌の色。違って何がいけないのか。 全員がそれぞれの個性を持っているのだから、それでいいじゃないか。 自分も他人も互いに認め合おう。



〈高校生〉

あなたは何色が好きですか。

赤、白、黒、・・・。

いろいろあり、多く色があるときれいに見えます。人もそれぞれ違います。

けれども違うから1人1人輝いて見えます。

私らしく、あなたらしくを大切に、明るい未来へ向けて。







〈高校生〉

# あなたという色があるからこの世界は彩られるのだ。 それは私も同じ。誰ひとりいらない色など無いんだ。







世の中には自分の気持ちを自分の言葉で伝えることができない人がいっぱいいる。 それができる人からしたら、その気持ちはなかなか理解しづらいだろう。 でも、その気持ちに寄り添おうとする人があふれる世界になるといいな。



線を引いて名前をつけてしまうから、

その線の上にいる人や、線の向こう側に行きたい人達が苦しんでしまう。

見えない線を消して、全てに「個性」という名前をつけたら、

苦しむ人はへるのだろうか。





〈高校生〉





「あの人はみんなと違うから」 その言葉に出てくる"みんな"って誰のこと? あなたは唯一無二ってことを忘れないで。



〈高校生〉



私は吹奏楽部に入部した。

私のトロンボーンは力強い音、

フルートは上品な感じ。

人の個性も楽器の音色のようなものかもしれない。

個性は違うけど、それが重なり、

交わって良くなっていく。

個性には良いとか悪いとかはないと思う。

自分に自信を持とう。



「あい」のつく言葉はみんなを繋ぐ合言葉。 出会い、伝え合ってわかりあい、 認めあえる仲間で愛の溢れる世界にしよう。 心と体が違っていても、それを隠すことは無いと思います。 自分が好きな人を堂々と好きだと言える世の中にしたいです。 それを認める、認めないなどするのではなくて、それを気にしない、 自然だと思える環境が必要です。















自分らしく生きていい、他人と同じ生き方でなくていいと育てたはず。

突然のカミングアウトにどうしたんだろ、心が震えた。

私って・・・。

ちょっと待ってね、私も成長するから。







### そのちがい まちがいじゃない こせいだよ





「令和4年度人権メッセージ募集」に、2108点の心温まるメッセージが寄せられました。 その内の優秀作品30点をご紹介しています。



熊本県・熊本県人権啓発推進協議会・熊本県人権啓発活動ネットワーク協議会

熊本県人権センター

熊本県人権センター



TEL 096-333-2299

発 行 者:熊本県

所 属:人権同和政策課

発行年度:令和4年度(2022年度)